

## 1 - 4 北海道内陸部の浅発地震活動について

### Seismic Activity of Shallow Earthquakes in Hokkaido

気象庁 地震課, 地震活動検測センター

鈴木 雄次

Yuji Suzuki;

SAMC, Seismological Division Japan Meteorological Agency

#### 1. 北海道北部の豊富町付近と東部の津別町付近の地震

1975年12月末から1976年1月始めにかけて、北海道北部の宗谷支庁天塩郡豊富町付近と、東部の網走支庁網走郡津別町付近に相次いで地震が発生した。いずれも局地的な地震で有感範囲も狭く、震度の最大はⅢ～Ⅳ程度であったが、これらの地域はもともと地震の少ない処であるため、今回の地震に対する付近住民の関心は強かった。

第1図は1975年12月20日から1976年1月5日にかけての豊富町付近の地震と同地域における過去の歴史的地震の発生状況を、また、第2図は1976年1月4～5日の津別町付近の地震と同地域における過去の歴史的地震の発生状況を示したものである。

#### 2. 北海道内陸部における過去の地震活動

第4図は北海道全域及びその周辺の歴史的被害地震の震央分布を、また、第3図は最近における北海道周辺のごく浅い地震（ $h: 0 \sim 30\text{Km}$ ）の発生数の分布を示したものである。第3、4図から分かるように、北海道内陸部の地震活動度は極めて低いうえに、M7以上の地震はまだ1回も記録されていない。

しかし、第5図に示すように北海道内陸部にも社会的に問題となるような小規模な浅発地震が過去にもかなり起っており、特に渡島半島や北海道東部では群発地震が時々発生し、世間を騒がしたこともある。

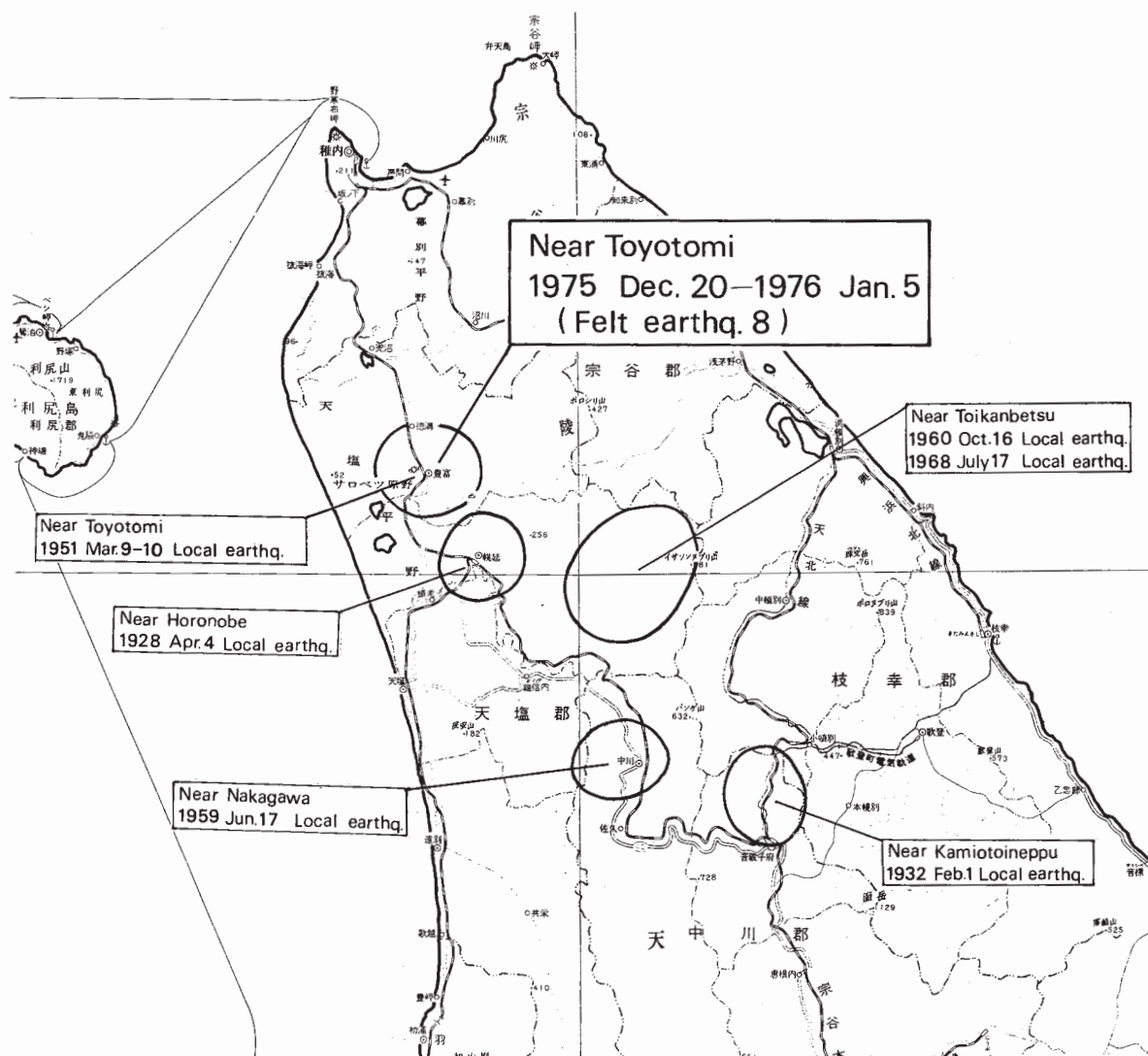
#### 3. 北海道周辺の大地震と内陸部の浅発地震

第6図は北海道周辺海域における代表的大地震と内陸部の浅発地震（ただし、日高山脈付近の地震はやや深いので、ここでは一応除外した。）とを時間的に対照させたものである。

第6図から両者の間にはっきりとした因果関係を求めることは無理であるが、しいていえば、北海道周辺海域の大地震は内陸部の地震活動の最盛期よりも、その末期または初期に発生している傾向が認められる。

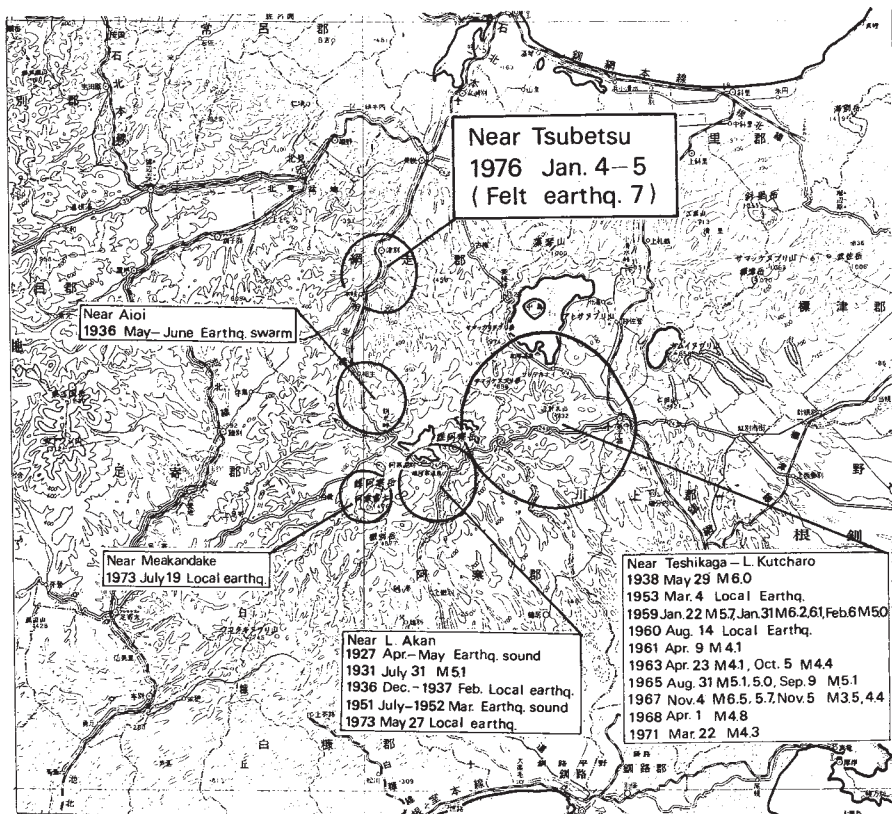
## 参 考 文 献

- 1) 札幌管区气象台 (1972) : 1611 ~ 1960年の北海道における地震活動, 気象庁技術報告, 第20号, 96。
- 2) 气象台 (1968) : 地震観測指針 (参考編) 付表5, 本邦被害地震表。
- 3) 宇津徳治 (1969) : 北海道の地震活動, 1968年十勝沖地震調査報告, 77 ~ 83。



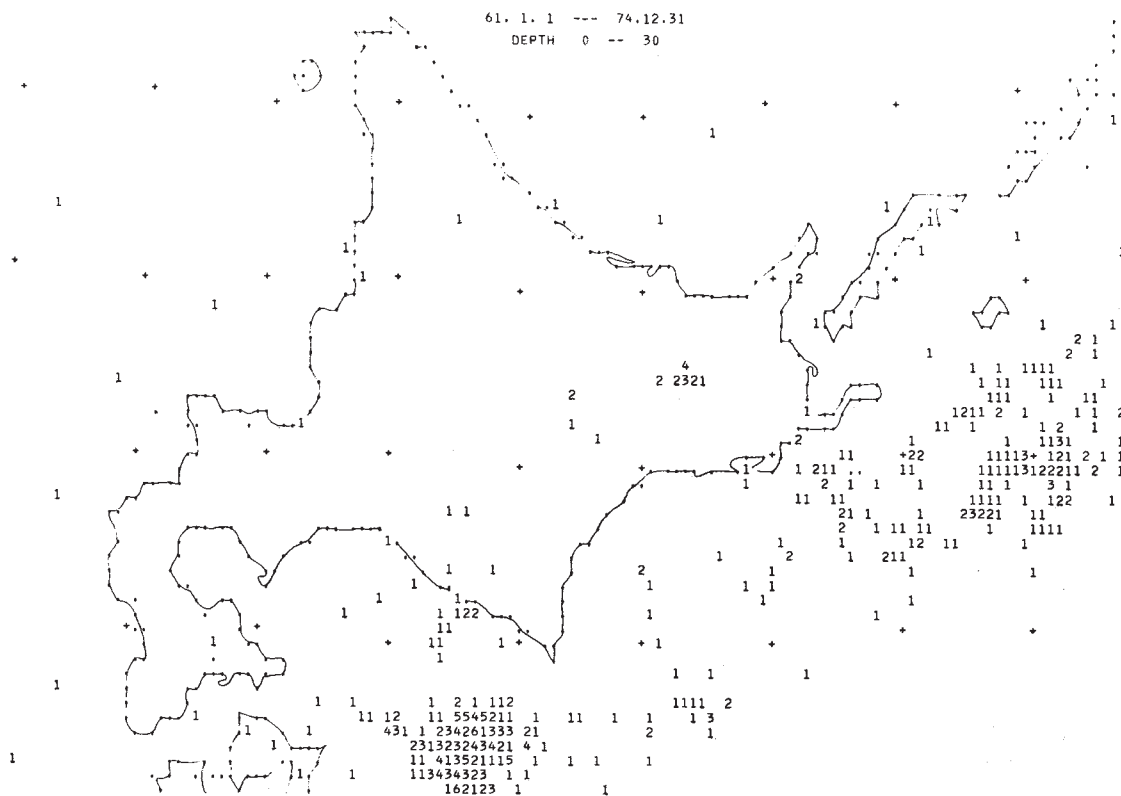
第 1 図 北海道北部に過去に起った局地地震の分布

Fig. 1 Distribution of local earthquakes which occurred in the past at northern part of Hokkaido.



第2図 北海道東部に過去に起った局地地震の分布

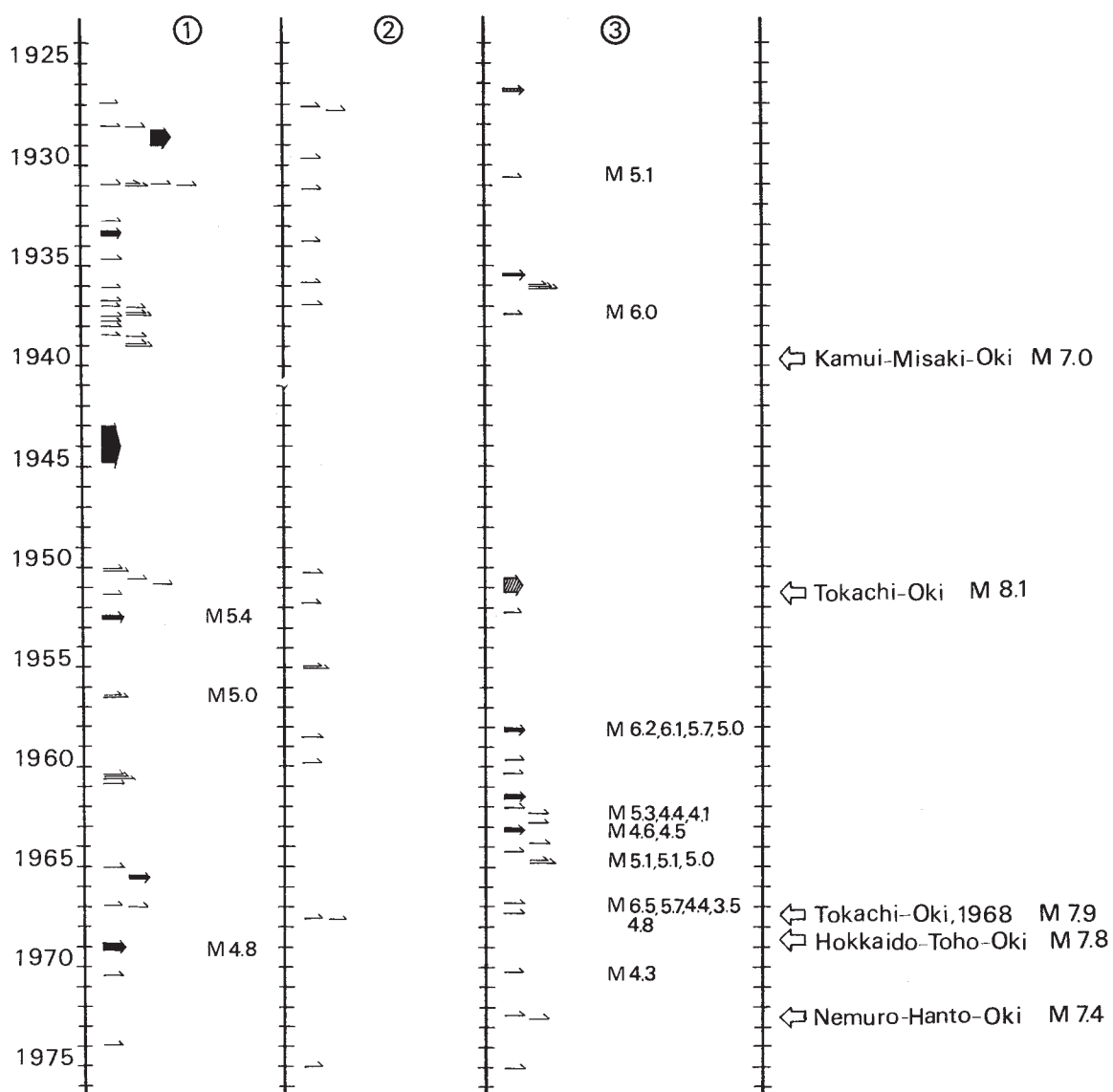
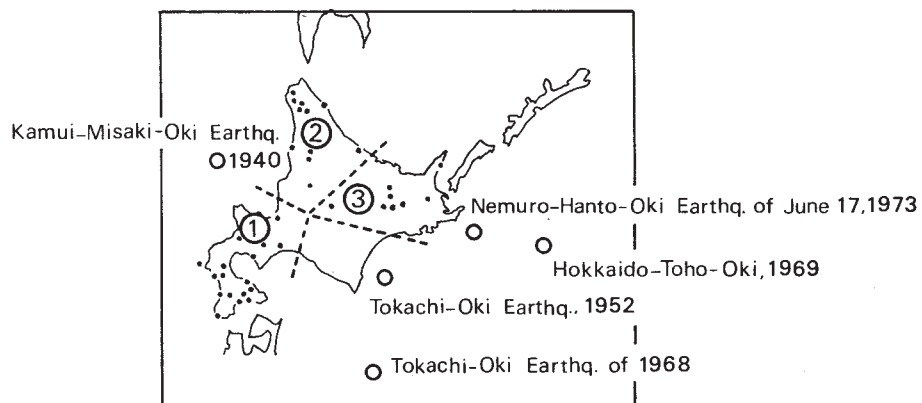
Fig. 2 Distribution of local earthquakes which occurred in the past at eastern part of Hokkaido.



第3図 北海道周辺の浅発地震の分布 (1961 ~ 1974) (h : 0 ~ 30Km)

Fig. 3 Distribution of shallow earthquakes in and near Hokkaido during 1961-1974 (h = 0~30km)





第 6 図 北海道周辺の大地震と内陸部の浅発地震との関係

Fig. 6 Relation between great earthquakes around Hokkaido and shallow earthquakes in Hokkaido.